

スポーツも、エンターテインメントも、街も、人も。この場所から。輪になっていく。みんなが、つながっていく。



スポーツも、
エンターテインメントも
街も、人も。
この場所から、
輪になっていく。
みんなが、
つながっていく。

地域に愛されるアリーナ

- 向日町競輪場と一体的に計画し、多様な広場を擁する地域に開かれた空間を整備
- プロチームによるスポーツ教室や様々なイベントの実施、スポーツカフェ・コンビニの整備による日常的に賑わう空間を創出
- 災害など有事において避難場所としての機能を完備

世界に選ばれるアリーナ

- スポーツにも、音楽にも、イベントにも、誰にとっても使いやすい施設づくり
- 観客目線に立った映像音響・座席計画で、何度も来なくなる観戦体験を提供
- 国際大会や有名アーティストに選ばれるよう、圧倒的な実績に基づく確実性のある誘致体制を構築

京都のシンボルとなるアリーナ

- 京都らしさ、「和」を随所に採り入れた施設計画
- 京都の企業にこだわり、京都に寄り添った実施体制を構築
- 京都のスポーツ・文化の発信拠点を創出・育成
- 競輪場のイメージを変え、地域のブランド力を向上

京都から世界へ。アリーナ整備・維持管理運営のエキスパートが京都に集結し、地域の皆さまとともに、世界に誇れる、アリーナから始まるまちづくりを実現します。

圧倒的な実績を有する企業と地元企業の活用

スポーツ・エンタメ施設の整備・運営の実績豊富な企業を主要業務に起用

代表企業：伊藤忠商事(ワーナーブラザーズスタジオツアー東京、柴田町体育館)
設計監理：梓設計(沖縄アリーナ、SAGAアリーナ、横浜BUNTAI、Kアリーナ横浜)
施工：大林組(神戸アリーナ、エスコンフィールドHOKKAIDO)
運営：電通(有明アリーナ、SAGAアリーナ、横浜BUNTAI)
シンコースポーツ(宝が池公園運動施設、大阪府立体育会館)
維持管理：ハリマビシステム(横浜BUNTAI、Kアリーナ横浜、滋賀ダイハツアリーナ)
ファイナンス：NTT・TCリース(柴田町体育館、桑名市総合運動公園プール)

地元企業を積極的に起用し、長期間地元に残り添う体制を構築

ファイナンス：京銀リース、京都銀行
維持管理：協栄ビル管理
運営：京都新聞、エフエム京都、京都放送

実績をふまえた魅力的な提案

- 圧倒的な実績を有する構成員企業のノウハウを結集し、収益性が高く、かつ利用者にとっても興行主にとっても使い勝手がよく魅力的な施設計画
- 大規模大会や有名アーティストを含め、スポーツも音楽興行もバランスよく確実に誘致する運営計画
- 府民の命を守るハード(建築技術)・ソフト(防災訓練・マニュアル等)の両面が備わった防災拠点
- 京都府のニーズに合わせ、割賦及びリースを複合した新しいファイナンススキーム

スポーツを観る、する、支える

- 全ての席から最高の観戦体験ができる座席計画
- 選手のパフォーマンスを最大限引き出す施設計画や府民に開かれた多くのスポーツ教室の実施
- 利用シーンにあわせてフレキシブルに活用できる諸室計画

施設整備段階

維持管理・運営段階



(注)競輪施設はイメージであるとともに、アリーナ施設は今後の設計等により内容に変更が生じる可能性があります。

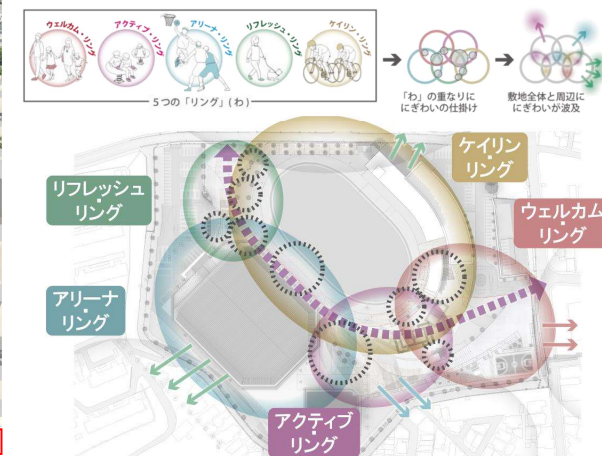
地域住民の交流拠点として、開かれたアリーナ／安心・安全のセーフティアリーナ



(注)競輪施設はイメージであるとともに、アリーナ施設は今後の設計等により内容に変更が生じる可能性があります。

周辺地域にも波及的に広がる賑わいや交流の『リング』

- 競輪敷地全体を5つの「リング」(わ)でエリア構成し、リング同士の重なる部分に人々の溜まり場となるような、様々な賑わいの仕掛けを設ける計画としています。
- 各リングを活かして様々なイベントを開催し、アリーナと競輪場の来場者及び地域住民の交流拠点として活用します。



一体的に利用可能なオープンスペース

●効率的な施設配置により大きなアプローチ広場を確保

- アリーナと競輪場を並行配置して競輪施設を一棟化することにより、敷地南側にまとまったエリアを確保します。日常的に府民が利用しやすい**大きなアプローチ広場**や両施設を一体的利用したスポーツフェスなどの**地域イベント**を行える**ミニバンク広場**をつくり賑わいを創出します。

●イベントが行える屋外バスケットコート

- 屋外バスケットコート**を敷地南東角に配置しバスケットボール関連のイベントに利用できる計画とします。東側道路から賑わいが見られ、南側住宅街への騒音にも配慮した配置計画とします。

●住宅街と建物の間に緑地を計画

- アリーナは、南西に広がる住宅街からできる限り離隔を確保した配置とし、住宅街に面する敷地境界沿いを広場や緑地として整備することで、**住宅街への圧迫感の低減を図り、周辺住民の憩いの場**となる計画とします。



地元利用者の賑わいと憩いを創出する施設を整備

●アリーナから競輪バンクを望む建物計画

- 競輪バンクに面して観覧デッキを設け、競輪施設との連携ができ、**365日市民が訪れることで賑わいが創出**できる計画とします。
- ミニバンク広場はアリーナでのイベント利用だけでなく、BMXや子どものストライダー大会など**競輪事業と連携した様々なイベント**ができるように計画します。

●京都ハンナリーズとタイアップしたスポーツカフェ展開

- アリーナ敷地内に**京都ハンナリーズ**および競輪場とタイアップした**スポーツカフェ**を整備します。ホームゲーム時はチームショップ、イベント時は売店、イベントが無い日はスポーツカフェとして営業し、地域の賑わいを醸成します。

●地元の名産を取り扱うキッチンカースペースを展開

- イベント開催時にキッチンカースペースを確保し、**地元商店会などの出店**を優先的に誘導します。
- イベントが無い時は、**ミニバンク広場でマルシェ**などを開催し、地元商店街と地域を繋ぐ交流広場として機能します。



周辺住民や利用者の利便性を向上させる施設を整備

●「ファミリーマート」の誘致が内定

- 東側道路沿いには「**ファミリーマート**」の誘致が**内定**しており、来場者や地域住民から重宝されるコンビニエンスストアを開設します。
- 地元産品や京都ハンナリーズのグッズを取扱うなど、アリーナ、競輪場店舗ならではの**商品ラインナップ**とします。
- 災害時には**地域の防災拠点**としての役割も期待されます。
- 店舗開設の準備が整い次第、アリーナ開業よりも先んじての**オープン**を検討します。

災害に備えた安心・安全のセーフティアリーナ

●災害時の早期対応・指定避難所としての機能確保

- 近隣の活断層や今後予測される巨大地震に配慮し、指定避難所となるメインアリーナは、**構造体Ⅰ類**とします。
- 受水槽及び緊急排水槽は災害時に必要な水量の1日分を確保し、インフラ途絶時にも利用可能とします。

●マンホールトイレや非常用

- 発電機**を設置し、災害に備えます。

●サブアリーナは床ふく射冷

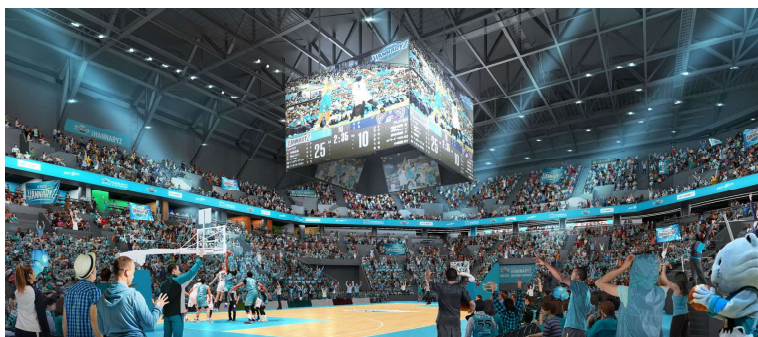
- 暖房システム**とすることで、避難施設として快適な室内環境を実現します。

平常時	災害時
メインアリーナ	物資集積所/避難場所
サブアリーナ	避難場所
エントランスホール	情報発信場所
事務室	府災害対策本部
医務室・会議室	救護所
各広場	炊き出し

(注)各イメージパースは今後の設計等により内容に変更が生じる可能性があります。

来る人も、使う人も。また来たくなる、また使いたくなるアリーナ

観客に多彩な興奮と感動を生むハイパフォーマンスアリーナ



●明快なゾーニング計画

- 各種プロリーグや大会の興行時に、選手、運営者、観客、VIP、メディアなど各動線が交錯しない施設配置とすることで、**利用者毎にコンパクトで明快なゾーニング**とします。
- 明快なセキュリティエリアを設定可能な諸室配置とすることで、メインアリーナとサブアリーナで別々のスポーツ大会やイベントを行うことが可能です。



●大会運営のしやすい施設計画

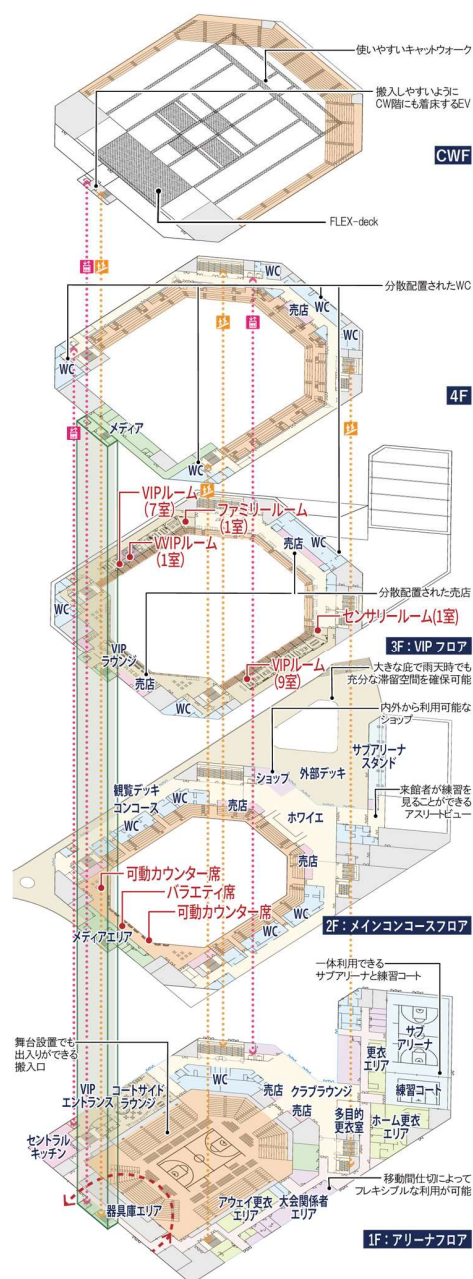
- ホーム・アウェイ両チームが、独立してアップすることができるよう、サブアリーナ隣接の練習コートを計画します。
- 練習コートとサブアリーナは**移動間仕切りを開放することで、一体的な利用**が可能で様々なイベントに活用できます。



テクノロジーにより、アリーナの体験価値を拡張させる

●スポーツエンターテインメント施設を実現する音響・映像設備

- 国内最高水準の密度となるアクセスポイントを常設し、最先端の通信環境を整え、**来場者が安心して快適に利用できる通信環境**を提供します。
- メインアリーナには**国内最大規模のセンタービジョン**を計画します。
- センタービジョン内には、**インナービジョン**を4面搭載し、フロア席の観客や、プレー中の選手たちにも、必要な情報を見やすく提供します。
- センタービジョンはコンサート時には屋根トラス内に収納可能となり、**速やかな場面転換も可能**となります。
- 各種映像を組み合わせ、**興行に合わせて柔軟に映像を表示することができる映像制御装置**を搭載予定です。映像の表示に対し、音響の調整、サイネージの表示切替、照明のパターン切替などを連動して制御可能とし、迫力あるデジタル演出で観客の体験価値を高めます。



多様な利用シーンに対応し高稼働を実現するボウルデザイン

●来るたびに新たなExperienceと一体感を生むボウルデザイン

- 各興行時の客席数を最大化したうえで、VIPエリアやバラエティ席などのプレミアムなエリア設定も可能とするボウル形状（ハイブリッドオーバル型）とすることで、**稼働率が高く、収益性のある「稼げる」アリーナ**を提案します。
- バスケット興行時は移動観覧席や仮設席により、ロの字型にコートを囲むことで、**臨場感ある空間を演出**します。また、価値の高い長辺の座席を可能な限り最大化することで、センターコートの試合に最適な形状とします。（8,925席）
- 音楽興行時はU字型を基調としたボウル形状とし、**エンドステージを使用する際に見切りとなる座席を極少**化した無駄のない客席計画とします。（9,328席）



来るたびに違う楽しさに出会えるアリーナ

●収益性を高め、来訪者におもてなしを提供するVIPエリア

- VIPエリアには飲食を楽しみながら大人数で観戦可能なVIPラウンジと共に、個室空間となる**様々な特色のあるVIP・VIPルーム**をスポーツ観戦のしやすいコート長辺の両サイドに設けます。
- VIPルームは京都府の地域活性化策『もうひとつの京都』をテーマとし『海の京都』『森の京都』『京都市域』『竹の里・乙訓』『お茶の京都』の5つのルームバリエーションとします。
- コートサイドラウンジは「竹小径」をモチーフとした竹材で京都らしさを感じさせる上質な大人の社交場としてデザインします。

●混雑を緩和する機能的に配置された飲食・売店エリア

- 飲食・売店を分散配置し、あらゆる座席からのアクセス性に配慮した来場者が利用しやすい計画とします。
- 一部の飲食・売店はアリーナ内に計画することで、観戦しながらの飲食購入ができ、**決定的瞬間を見逃さない観戦体験**が可能です。

